

## 社会福学科 介護福祉専攻 1年 後期 総合科目

1. 富山コミュニティー論
2. 臨床美術
3. 日本語表現技法

## 社会福祉学科

## 介護福祉 専攻

科目名: 富山コミュニティー論			担当教員 氏名: 宮嶋、境、毛利、宮城						
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
1	1年次	後期	総合科目	演習	必修				
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:									
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード				
主体的に地域の課題を学び、その解決のために必要な目標を設定し、具体的に「ひと・こと・もの」(地域社会)に関わる行動に移し、自身を「つくり、つくりかえ、つくる」実践力を高める。					教育目標「つくり、つくりかえ、つくる」、 『私』宣言、地域社会に生きる「私」、実践躬行				
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 4. 5. 7. 8. 10				
D 問題解決力			問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を解決できる。						
E 自己管理能力			地域社会の「ひと、こと、もの」に働きかけ自己を律して行動できる。						
G 倫理観			自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる。						
F チームワーク・リーダーシップ			【市民としての社会的責任】義務と権利を適正に行使しつつ、地域社会に生きる「私」になる						
C 論理的思考力			【生涯学習力】自ら設定した目標(『私』宣言)に対して、それを行動に移し、「つくり、つくりかえ、つくる」の実践力を持つ。						
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	60 %	発表:	%	実技試験:	%	その他:	40 %
特記事項: その他については、授業への積極的な取り組みとグループへの貢献度によって評価する。									
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 毎回、ADが計画と実施の報告を受け、指導する。									
授 業 計 画					準備学習(予習・復習等)				
					学習内容	学習に必要な時間(分)			
①【各学科】学修の進め方、地域調査の基本について。地域社会に生きる「私」をつくる					【予習】シラバスの確認	【予習】30分			
②【AD】各グループで地域課題テーマの設定、情報収集、調査計画の作成を立てる①									
③【AD】各グループで地域課題テーマの設定、情報収集、調査計画の作成を立てる②					【予習】計画書の作り方を調べる	【予習】30分			
④【AD】各グループで地域課題テーマの設定、情報収集、調査計画の作成を立てる②									
⑤【AD】連携機関との打合せ					【予習】計画書の確認	【予習】60分			
⑥【AD】調査計画の修正									
⑦【AD】地域課題のフィールドワーク①									
⑧【AD】地域課題のフィールドワーク②					【予習】計画書の確認と実体験にむけて	【予習】60分			
⑨【AD】地域課題のフィールドワーク③									
⑩【AD】地域課題のフィールドワーク④									
⑪【AD】地域課題の解決策の検討					【予習】ノートの整理	【予習】60分			
⑫【中村】ボランティア活動を通しての「私」の育ち(ボランティア活動発表)※1					【予習】発表準備	【予習】60分			
⑬【AD】学習成果のまとめ①					【予習】報告書の書き方を調べる	【予習】60分			
⑭【AD】学習成果のまとめ②					【予習】報告書の書き方を調べる	【予習】60分			
⑮【全学科】学習成果報告会 1月26日 Uホール					【予習】発表準備 【復習】レポート作成	【予習】60分 【復習】60分			
使用テキスト:					その他参考文献など: 佐藤郁哉: フィールドワークの技法-問を育てる、仮説をきたえる。社会学やさまざまな領域の文献を探索的に探し参考にしてほしい。				
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): ※1. ボランティア報告会の日時は時間割参照。 「地域つくりかえ学」で学んだことに基づいて地域課題に主体的に取り組む。積極的な「つくり、つくりかえ、つくる」を目指そう。									

## 社会福祉学科

## 介護福祉 専攻

科目名: 臨床美術			担当教員 氏名: 北澤晃、岡野宏宣						
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
2	1年次	後期	専門科目	演習	選択	臨床美術士5級			
実務経験を用いてどのよ うな授業を行っているか:						臨床美術士養成講座講師の資格を持ち、臨床美術士としての福祉施設などでの臨床美術の実践を生かし、臨床美術の基礎的知識やコミュニケーション方法、制作プログラムの理解について授業を行っている。			
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード				
右脳の活性化と認知症予防の関係を知り、他者との関係を深めるコミュニケーション空間をつくり出し、美術療法の技術を用いて生き生きとした活動を設定する力を身に付ける。また、主体的にロールプレイングなどアクティブ・ラーニングすることによって福祉施設などで活動する実践力を身に付ける。					・臨床美術 ・右脳の活性化 ・認知症 ・コミュニケーション ・量感画				
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		2. 5. 6. 8.				
A 知識・理解力			右脳の活性化と認知症について理解することができる。						
B 専門的技術			状況や関係を把握して量感画などで表す基本的技術を習得する。						
D 問題解決力			「ひと・こと・もの」に働きかけ、豊かに表現活動の場を設定するために、情報を収集・分析・整理し、目的に応じた活動案が作成できる。						
F チームワーク・リーダーシップ			リーダー・サブリーダーなどの役割を理解しチームに参画することができる。						
H コミュニケーション力			造形を通して具体的に他者を理解しコミュニケーションをすることを通して、他者に共感でき、相手の立場に立って考える事ができる姿勢を身につける。						
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト: 0 %		レポート: 30 %		発表: 30 %		実技試験: 30 %		その他: 10 %	
特記事項: 事前課題作品は100%の提出とする。欠席した場合、授業内で制作した作品及び講義内容に関する課題を課す。成績評価のレポートは事前課題の提出。発表は授業内の発言。実技試験はロールプレイングの理解と実践力。その他は積極性を指す。本科目ではアクティブ・ラーニングの一環として福祉施設などを想定して学生同士におけるロールプレイングを行います。準備物: 毎回の授業に持参してください。ハサミ、スティック糊、割り箸ペン、新聞紙(朝刊1日分)、ウェットティッシュ、クロッキー帳鉛筆2Bか4B									
アクティブラーニング要素:									
課題解決型学習    ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> プレゼンテーション <u>実習、フィールドワーク</u>									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 発表・実技は毎時間毎に実施する。									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 課題提出時に振り返りのコメントを伝える。									
使用テキスト: 『臨床美術士養成講座5級』, 芸術造形研究所『臨床美術・痴呆治療としてのアートセラピー』, 芸術造形研究所				その他参考文献など:					
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): ・本科目は一日に2コマや3コマ続けて行う科目になります。また開講日時も不規則なため、授業日をよく確認してください。 ・オイルパステルの特性を知り、自分自身が楽しめるようになるために、継続的に描き続けてみる必要があります。									
授 業 計 画					準備学習(予習・復習等)				
					学習内容				
					学習に必要な時間(分)				
回数									
1	【岡野】授業ガイダンス			10月4日	【予習】: 自己紹介文(ガイダンスで配布)				
2	【北澤】臨床美術基幹 I - ①			10月11日					
3	【北澤】臨床美術入門 I 「五感のアナログ画」			10月11日					
4	【岡野】存在論的人間観			10月18日					
5	【岡野】臨床美術入門 I 「りんごの量感画」			10月18日					

※前ページよりつづき

社会福祉学科

介護福祉 専攻

科目名: 臨床美術		担当教員 氏名: 北澤晃、岡野宏宣	
授 業 計 画		準備学習(予習・復習等)	
		学習内容	学習に必要な時間(分)
6	【北澤】臨床美術入門Ⅰ「ジェスチャー画」	10月25日	
7	【北澤】臨床美術入門Ⅰ「立体かぼちゃ」	10月25日	準備物: 作品を持ち帰るための袋
8	【岡野】臨床美術コミュニケーションⅠ「ギャラリートーク」	11月1日	
9	【岡野】臨床美術コミュニケーションⅠ 「私の感性地図」「鑑賞会」	11月1日	【予習】: 私の感性地図 ・りんごの量感画
10	【北澤】臨床美術実践の基礎「アナログクロッキー演習」	11月8日	準備物: 鉛筆(2Bか4B)
11	【岡野】臨床美術実践の基礎「りんごの模刻」	11月29日	
12	【岡野】臨床美術実践の基礎「りんごの量感画」	11月29日	
13	【北澤】臨床美術コミュニケーションⅠ 「二人で描くアナログ画」	12月6日	【予習】: アナログ日記①
14	【北澤】臨床美術コミュニケーションⅠ 「現場セッションについて」	12月6日	【予習】: 書籍『臨床美術』の感想文
15	【岡野】臨床美術実践の基礎 「ロールプレイングに向けて試作」	12月13日	準備物: さつま芋(紫芋以外で) 和紙セット(試作で使用) 【予習】: 修正輪郭画 ・ゴッホの素描 ・りんごを描く4種
16	【岡野】臨床美術実践の基礎 「ロールプレイングに向けてリハーサル」	12月13日	準備物: さつま芋(紫芋以外で)
17	【岡野】臨床美術実践の基礎 「ロールプレイング①」	12月20日	準備物: さつま芋1個+α
18	【岡野】臨床美術実践の基礎 「ロールプレイング②」	12月20日	
19	【北澤・岡野】臨床美術実践の基礎 「ロールプレイング」「総括」	1月17日	【予習】: アナログ日記② 準備物: 臨床美術協会資格認定申請書 (課題をすべて提出している方)
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			

社会福祉学科			介護福祉 専攻			
科目名: 日本語表現技法			担当教員 氏名: 山本 裕世			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	1年次	後期	総合科目	演習	選択	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:						
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
日本語を表現することは、自己表現することである。したがって、文章や会話を通して、自己の在りようが現れることから、適切に伝えるための日本語表現の基礎基本を学ぶとともに、他者との関係を豊かにする自己表現の態度を養う。					国語力の基礎 話す力 聴く力 書く力	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 5. 7.	
A 知識・理解力			日本語の正しい使い方を身につける。			
C 論理的思考力			言葉を客観的に理解し、正しく判断する。			
D 問題解決力			問題点をつかみ、問題点の情報を的確に収集し、集めた情報を正しく分析する。			
G 倫理観			自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる力を養う。			
H コミュニケーション力			言葉やジェスチャーを用いて、お互いの意思の伝達を図る。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学期および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 50 %		レポート: 30 %		発表: 10 %		実技試験: %
						その他: 10 %
特記事項: 上記「その他10%」では、授業態度、授業への積極性、授業中の課題の提出状況などで評価する。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: レポート、小テストを適宜取り入れる。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 前期・後期それぞれに小テストを行い、採点返却の上、習熟度を再確認する。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容		学習に必要な時間(分)
①アカデミックワードと日常語					【予習】60分 【復習】90分	
②仮名遣い・送り仮名・現代表記					【予習】60分 【復習】90分	
③句読点・記号の使い方・見やすい表記の仕方				ノート、プリントの見直し	【予習】60分 【復習】90分	
④あいまいな文・文のねじれ				ノート、プリントの見直し	【予習】60分 【復習】90分	
⑤長い文を分ける・接続表現の使い方				接続詞について調べておく。ノート、プリントの見直し。	【予習】60分 【復習】90分	
⑥分かりやすい語順・結論を先に述べる				指定する資料を読んでおく。ノート、プリントの見直し。	【予習】60分 【復習】90分	
⑦事実か意見か・文末に注意する				指定する資料を読んでおく。ノート、プリントの見直し。	【予習】60分 【復習】90分	
⑧データの解釈 <①～⑧迄の内容小テスト>				①～⑧迄の復習。	【予習】120 【復習】90分	
⑨敬語の使い方				敬語について調べておく。ノート、プリントの見直し。	【予習】60分 【復習】90分	
⑩作成力<通信文>				ノート、プリントの見直し	【予習】60分 【復習】120分	
⑪作成力<表現>				ノート、プリントの見直し	【予習】60分 【復習】120分	
⑫作成力<意見文>①				ノート、プリントの見直し	【予習】60分 【復習】120分	
⑬作成力<意見文>②				ノート、プリントの見直し	【予習】60分 【復習】120分	
⑭レポート課題とレポートを書く順序				ノート、プリントの見直し	【予習】60分 【復習】120分	
⑮レポートの内容 <⑨～⑮迄の内容の小テスト>				⑨～⑮迄の復習。	【予習】120 【復習】90分	
使用テキスト: 必要に応じてプリントを配布する。				その他参考文献など: 「読むだけ小論文」樋口裕一「<型>で書く文章論」西田みどり		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 国語表現力は、全ての教科の基礎となります。予習・復習を行い、日本語力を身につけてください。						